

視察研修レポート



大和町
宮城県

議会運営委員会

8月20日 宮城県大和町議会
8月21日 山形県庄内町議会



庄内町
山形県



大和町議会
時間をかけて
議会活性化に取り組む

人口約2万7千人、陸上自衛隊大和駐屯地が所在する大和町の議会は、議員定数が18人で、平成25年12月に議会基本条例を可決し、議会活性化に取り組んでいます。今回の研修では、議会基本条例ができるまでの経緯や手順について研修してきました。

まず、平成18年3月に議会活性化調査特別委員会を設置し、その後、ホームページによる議会情報の発信やワーキンググループによる調査などを行い、平成25年11月に町民と議会との懇親会で、議会活性化と基本条例についての意見交換を行いました。この間、2回の

改選がありました。議会活性化調査特別委員会は引き続き設置されており、議会の活性化を図るには、年数をかけてじっくりと取り組んでいく必要があると感じました。

庄内町議会
議会の役割が
明確で活発

庄内町は、人口約2万3千人で、平成17年に2つの町が合併して誕生した町です。議員定数は16人で、合併以前に行われた議会改革や活性化の取り組みも継承し、その後も長年にわたりユニークな取り組みを実施している議会です。今回は、全国的にも議会活性化の先進的な町として知られている同議会から、議会運営や議会の活性化について学んできました。



同議会では、早くから議員の執行部門機関からの引き上げを行い、平成20年に議会基本条例を制定しています。21年より「町民と語る会」を毎年開催し、24年には議会議員政治倫理条例の制定、また、町の「基本構想及び基本計画」を議決

案件に追加し、さらに執行に反問権を与えるなど本町の議会では実施していない進んだ取り組みを多く行っています。本村では、未だに議員が執行部門の機関に充て職などで所属している状況であり、一歩も二歩も、それ以上に先を行っている庄内町議会の取り組みは、非常に刺激があり、参考になりました。それらを今後の議会の活性化に活かしていきます。

進んだ
施策を

学んで生かすべ!!



宮城県
女川町

総務産業建設常任委員会

9月24日 宮城県女川町議会
9月25日 岩手県平泉町議会



岩手県
平泉町



女川町議会 震災復興整備計画は 予定通りか

平成23年3月11日、女川町は過去にない高さ20メートルの津波によって、町内の住宅の7割が流失し、人口の1割の方が尊い生命を失うという未曾有の災害に見舞われました。女川町では新たな一歩を踏み出すため「女川町復興計画」を作成しました。整備の基本的な考え方は

- ・親が仕事でいない時間帯
- ・複数ルートの高台避難道路、避難通路が整備されたまち
- ・まちの真ん中に、生活の軸線を整備

に、子どもたちが怖い思いをすることがないまち
安心して子どもたちを出かけさせられるまち
数十年に一度は必ず来る津波に対しても浸水しないまち

など、現状復旧にとどまらない新しい「港町おながわ」の再生を目指しています。今回はこの震災復興計画について研修視察しました。本村でも防災計画等に役立ててまいります。

平泉町議会 世界遺産登録後の 町づくりは

今回の視察は、群馬県の富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録されたことから、すでに登録されている「平泉・仏国土(浄土)」を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」また、町づくりを研修視察するものです。平泉町は、平泉丘陵の東端に平安末期の中尊寺・毛越寺・無量光院など藤原三代の遺跡・文化が多く残っています。「平泉の

- ・観光客へのおもてなし
- ・観光案内業務の充実
- ・外国人観光客の受入れ整備

文化遺産」が平成23年6月29日に世界遺産登録されました。世界遺産登録後の取り組みとして

- ・観光客の誘致・広域観光の推進

県外から榛東村議会へ 視察に訪れました

| | |
|-------|--|
| とき | 7月23日(水) |
| 訪れた町村 | 山梨県町村議会 運営委員町連絡協議会 |
| 研修内容 | (1)榛東村議会概要 (議員報酬の引き上げの経緯 議会改革への取り組み) (2)地域活性化事業の取り組み ・ふるさと公園周辺活性化計画 ・メガソーラー施設について |